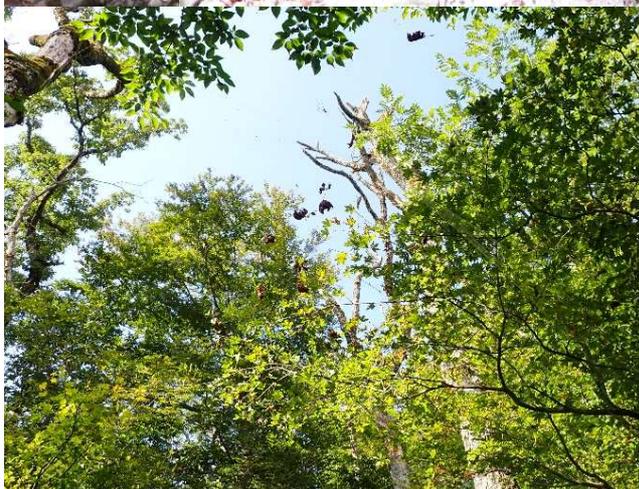


令和6年度 研究成果報告会

～災害と森林～



<開催日時> 2月26日（水）13時～15時15分

<開催場所> 米子市文化ホール イベントホール

[主催] 鳥取県林業試験場

<プログラム>

開 場 12:00

1.ポスター展示 12:00～12:50

2.開 会 13:00

3.特別講演 13:00～13:50

「林地の保全に森林はどこまで貢献できるのか？」

講師：鳥取大学農学部 准教授 山中 啓介

(休憩10分)

4.研究成果報告 14:00～15:00

◇「鳥取県におけるナラ枯れ跡地の植生状況」
森林管理研究室 主任研究員 三浦 功次

◇「スギ材の用途を拡げる新技術の開発」
木材利用研究室 上席研究員 桐林 真人

5.全体質疑 15:00～15:15

6.閉 会 15:15

アンケートにご協力ください

次回の研究成果報告会がより良いものになるよう、アンケートを実施しています。

添付のアンケート用紙、またはとっとり電子申請サービスにてご回答いただくようお願いします。

とっとり電子サービスは15時15分以降にご利用いただけます



←とっとり電子申請サービス

特別講演

林地の保全に森林はどこまで貢献できるのか？

講師：鳥取大学農学部附属
フィールドサイエンスセンター
准教授 山中 啓介 氏

プロフィール

鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター准教授。農学博士。
樹木医、技術士（林業）、測量士、林業普及指導員、林業専門技術員の資格を持つ。
森林の再生に関して研究を行っており、鳥取県松くい虫被害対策検討会や鳥取県皆伐再造林推進協議会など、県内の複数の委員会に参加している。



<講師近影>

近年、ゲリラ豪雨などの集中豪雨によって山地の崩壊や土壌の流出が課題となっている。また、拡大造林で造成された人工林が伐期を迎え、皆伐再造林が推進されている。このような林地では一時的ではあっても裸地に近い状態になるため、表層土壌の流出について懸念されている。



<災害が生じた森林>

森林は森林土壌の保全や土砂流出の防止といった多面的機能を有しており、これらの機能については多くの県民が認識するところとなっている。しかし、その機能が過大評価され、山地で災害が発生した際には、その原因がすべて森林にあるのではないかという論調も見られる。

本講演では森林の機能とその限界を再認識し、適切な森林管理について考察する。

鳥取県におけるナラ枯れ跡地の植生状況

森林管理研究室 主任研究員 三浦 功次

カシノナガキクイムシが病原菌を媒介する伝染病である「ナラ枯れ」は、県内において1991年に県東部で初めて確認され、被害は徐々に西進し全県に広がりを見せ、現在は徐々に収束しつつある。集団枯損し更新が見込めないような森林では、土砂災害防止や水源かん養等の森林が持つ公益的機能の低下が懸念されるが、これまで県内の被害森林の回復状況を調査した事例は少ない。そこで、ナラ枯れ跡地の更新等の実態を明らかにするため、ナラ枯れの集団枯損被害から5年以上経過した林分を対象とし、2022年7月から2024年10月にかけて県東部及び中部、西部において調査を行ったので、その概要を紹介する。

スギ材の用途を拡げる新技術の開発

木材利用研究室 上席研究員 桐林 真人

災害に強い健全な森林を育成するには十分な手入れが必要である。このための保育施業にかかるコストを回収するには、出材する木材が高く売れることが必須となる。特に壁材や床材などの内装材は単価が高いため、木材の用途として望ましい。

スギ材は温かみのある色調と手触りの良い優れた材であるが、柔らかく傷つきやすいため、内装材としては使われにくい状況となっている。そこで、スギらしさを損なわずに耐傷性を付与するため、特に難しいとされた節のある材料も加工できる表層圧密の技術開発に挑んだ。この結果、簡易な資機材を使って節のある材料も加工できる、耐傷性と意匠性を付与する新技術を開発したので、経緯と共に紹介する。

ポスター展示

路網設計支援ソフトを使用したタワーヤード設置候補地の抽出

森林管理研究室 上席研究員 矢部 浩

シカ食害対策の検証 ～高密度生息域での忌避剤による防除～

森林管理研究室 主任研究員 柴田 寛

通年植栽に向けて ～植栽時期毎の苗種別生存率～

森林管理研究室 研究員 赤井 広野

未利用農地に植栽された樹木の成長と土壌硬度の関係

森林管理研究室 研究員 園田 茉央

一般流通材を材料としたトラスの強度と破壊状況

木材利用研究室 主任研究員 森田 浩也

栈木痕が残りにくい木材乾燥を目指して ～栈木形状の工夫による試み～

木材利用研究室 主任研究員 佐々木 裕介

鳥取県内に造林されたカラマツの材質と生育環境に関する研究

木材利用研究室 研究員 岡本 瑞輝

メモ

《連絡先》

〒680-1203

鳥取県鳥取市河原町稻常113番地

電話番号：0858-85-6221

ファクシミリ：0858-85-6223

電子メール：ringyoshiken@pref.tottori.lg.jp

URL：https://www.pref.tottori.lg.jp/ringyoshiken/

